

「国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情」不採択に

～多様な文化を守るためにもインボイス制度の延期・見直しを～

《陳情主旨》中小零細事業者にとって消費税は現在、価格に転嫁することが困難な状況にあり、インボイス制度導入を契機とした廃業の増加や成長意欲の低下を招くなど、地域経済の衰退に拍車をかける恐れがある。

本陳情に対し、以下3点の反対意見がありましたが、日本共産党は実態を説明し、採択を呼び掛けました。

①3年前から周知しており、事業者に対する周知は十分行っているとの意見。

インボイス制度は、周知が進むにつれて一層、導入反対の声が広がっています。登録期限は、3月末から9月30日までに緩和措置が取られた。実施まで4ヶ月を切る中で、政府がいよいよインボイス該当者1286万人の4分の1の登録に留まっています。いまだ制度について国民に知られていない。

②消費税を貢っているのに支払わないのはおかしいという意見。

サラリーマンが東京と大阪で自分が支払った消費税が税務署・国庫に入っていないと裁判を起こした。「消費者が事業者に対して支払う消費税分は商品や役務に対する対価の一部としての性格である。消費税は物価の一部であり預かり金ではない」との判決が出された。これまで支払うべき消費税を支払わずに益税としていたのだから、支払うのは当然という声が聞かれるが、事業者が納めるべき消費税額は必ずしも消費者から預かった消費税額と同額とは限らないこと。中小零細業者は、消費税分を価格に転嫁できず身銭を切っている。

③不公平という意見。

政府はインボイス導入で2480億円の增收を見込んでいる。一方で輸出関連の大企業には、輸出戻し税として消費税が還付されるという仕組みになっている。2021年トヨタ一社だけで、輸出戻し税としての還付金が6003億円にもなっている。不公平と言うのなら、こういうところから正すべき。多くの専門家からも延期・見直しの声が挙がっている。

結果、日本共産党市議団の賛成討論に対し、立憲民主とだ以外の全ての会派の反対で不採択となりました。

日本共産党が紹介議員となった請願などは、他会派の意見で継続審査となりました。

- 日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求め、条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすよう求める意見書を提出してほしい旨の請願
- 核も戦争もない平和な二十一世紀を求める要望書（陳情）

日本共産党戸田市議団が提出した「教職員の長時間過密労働の解消を求める意見書」が、全会派一致で採択され、国に意見書として提出されました。

日本共産党戸田市議団提出の2つの意見書

○…賛成 ×…反対

	日本共産党	みらいの会	戸田の会	公明党	令和会	立憲民主とだ	とだ彩光会
①教職員の長時間過密労働の解消を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
②「防衛力強化財源確保法案」の撤回または廃案を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×

みらいの会（櫻木、遠藤、細田、古屋、そごう、熊木） 戸田の会（酒井、浅生、佐藤、宮内、野澤、矢澤） 公明党（三浦、竹内、三輪、みうら、石川） 令和会（斎藤、山崎、峯岸、伊東） 立憲民主とだ（小金澤） とだ彩光会（林）（敬称略）

日本共産党の議会報告をお聞きになりたい方おりましたら、出張報告会へも出かけます。ぜひ声を掛けてください。また、お困りごとなどありましたらお気軽にご相談ください。



2023年6月議会報告
発行／日本共産党戸田市議団

ホームページ <https://www.jcp-toda.net>
メールアドレス t-kyosan@outlook.jp

連絡先／日本共産党戸田地区委員会内日本共産党戸田市議団 Tel.048-443-8332 Fax.048-444-6531



2023年6月
議会報告

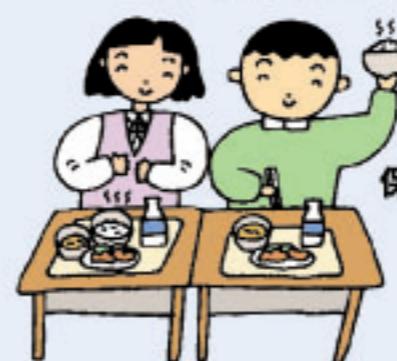
日本共産党戸田市議団



みんなの声とだけ 実現しました!!



核兵器のない世界を
むとう葉子 本田哲 花井伸子
「平和像」の前で



保育園・幼稚園児と小中学校の児童生徒(他市に通う子も含む)

●給食費の6ヶ月無償化

(令和5年10月～令和6年3月まで)

●敬老祝い品事業

(令和5年8月1日において70歳以上)

商品券2000円に8000円追加⇒10000円に

●自転車用ヘルメットの補助事業

(令和5年8月実施)

一人1回、商品代金の半額(上限2000円)



●プレミアム付き電子商品券

プレミアム率を20%⇒30%へ

・加盟店の募集 第2次申し込み期間：

令和5年6月26日～令和5年7月30日まで

・購入期間：令和5年8月上旬予定で抽選販売

・利用期間：令和5年9月18日～令和6年1月31日まで

「TODA暮らしトランスフォーメーション」に賛成

「TODA暮らしトランスフォーメーション」とは…

市の支援を受けて、市民が自ら生活を変化させ、CO₂を削減し物価高騰を乗り切ろうとする取り組みです。

●光熱水費節約

エネルギーのプロが監修した節約・節エネガイドを全戸配布

●お得に節約

市民の「節約宣言」で3000名にクオカード500円を進呈(人数を超えた場合は抽選)

●食費節約

女子栄養大学オリジナルレシピで、食費節約を推進

●電気代節約

市内のクールシェアスポットの利用促進

●おでかけ応援

シェアサイクル利用者に、利用ごとに使える200円分のクーポンを配布

●涼しさ応援

小中学生全員に冷感タオルを配布

●環境応援

環境にやさしいゴミ袋2000セット、公共施設で配布

●詳しく知りたい方は(市役所代表) 048-441-1800へ

一般質問



本田哲市議

戸田公園駅周辺まちづくり用地の活用は広く市民の声を反映させよ

【本田】戸田公園住宅展示場としての戸田公園駅周辺まちづくり用地（以下、まちづくり用地）の貸出しが終了すると聞いています。いつ終了するのか。

【答弁】令和6年3月31日をもって住宅展示場としての暫定利用が終了する。

【本田】住宅展示場としての暫定利用終了後のまちづくり用地の活用は、広く市民の声を反映させることが重要と考える。今後の活用の考えは。

【答弁】まちづくり用地は、戸田公園駅東口の都市計画道路や駅前交通広場整備のために、権利者との土地交換も視野に入れ保有している。貸出しが終了する今年度末までに、本市が取り組んでいる施策の進捗等を勘案しながら、有効活用について、様々な角度から検討する。



市内公園の簡易トイレに照明設置を

【本田】市内11ヵ所の公園の簡易トイレに照明が設置されていない。安全で安心して利用できるよう照明設置の要望が寄せられている。順次、設置すべきと考える。後付けは可能か。

【答弁】公園リニューアル計画に基づき、公園施設全体の長寿命化を進めていくなかで、簡易トイレへの照明設置を検討する。後付けは、技術的には可能である。

【本田】後付けが可能であれば早期設置を求める。併せて、定期的な明り取り部分の清掃を実施するよう要望する。



花井伸子市議

受動喫煙に配慮したボックス型喫煙所の設置を

【花井】4月に移動整備した戸田駅西口喫煙所への苦情が届いている。改善された浦和駅西口にあるボックス型喫煙所同様の形態へ改善する考えは。

【答弁】現時点では実現が難しい。

【花井】今、できる対策は。

【答弁】今後、更新の際にはパーティションの形状や高さを検討し、非喫煙者に配慮し整備する。

【花井】市内喫煙所における受動喫煙防止策は、長年の市民要望である。市長へ早急に改善を求める。



浦和駅西口のボックス型喫煙所

戸田雨水貯留施設の普及啓発を

【花井】雨水貯留タンクは小さなダムとして、豪雨対策や渇水、猛暑をしのぐ打ち水などの節水対策として有効である。戸田市雨水貯留施設等設置費補助金の実績は。

【答弁】4年間で11件、交付金額は39万5800円である。

【花井】実績が少ない。設置促進のための周知を行うべきでは。

【答弁】今後も制度の周知に努める。



横断歩道の設置を

【花井】西電話局通り笠目4丁目ささめデンタルクリニック交差点に横断歩道の設置を求める要望がある。交通量が多く西側駐車場の出入りが苦しい場所である。

【答弁】町会の意見を伺ったうえで、警察への要望を検討する。



むとう葉子市議

納税相談は生活再建を最優先に

【むとう】生活に困窮している方の納税相談に立ち会う中で、コロナ禍での救済措置である国民健康保険税の減免や社会福祉協議会の融資が対象となる方への案内がされていなかった。相談員の研修は、マニュアルはあるのか、スキルアップをどのように考えているか。

【答弁】他課の制度にかかる研修や相談マニュアルは、国保減免や生活自立支援のチラシで周知している。スキルアップは、窓口での対応記録を共有し、県が開催する研修に積極的に参加するなど、きめ細かい相談ができるようにする。

【むとう】生活再建ができれば、税金を支払うことができる。他課と一体的に一人一人の話を聞き、福祉の視点をもって納税相談を行って欲しい。

給付型奨学金制度の創設を

【むとう】「安心して学びたい。給付型の奨学金を作つて欲しい」との要望があった。市独自の給付型奨学金制度を創設してはどうか。

【答弁】本市では、経済的に困窮している家庭に無利子の奨学金貸付を行っている。引き続き社会情勢や日本学生支援機構の動向を注視し支援していく。

【むとう】高校生や大学生、保護者の声を注視するべきと考える。平成19年度まで実施してきた市独自の「奨学金の半額返済制度」を復活させてはどうか。

【答弁】予算に限りがあり、当時、対象者全員に貸付が出来なかつたため、全額返済型に見直した。

【むとう】令和3年度決算では、約41億円もの余剰金があり、給付型奨学金制度を実施することは可能と考える。国や日本学生支援機構が実施することを待たずに実現して欲しい。



交通安全対策を

【むとう】車道と歩道の間にある縁石は、暗くなると見えづらい。市内の道路を点検して反射板の設置を。

【答弁】道路の維持管理は、月1回の巡回パトロールを中心に行っている。市民からの通報を参考に現地調査を行い反射板を設置する。

～台風2号と梅雨前線の影響と今後の対策～



連続雨量の最大値が、2019年10月の台風19号時より多かったことから、北大通りから富士見公園通りの一部

区間と北大通りから市役所南通りの一部区間通行止めを行いました。

市は災害警戒本部を設置し、冠水地域からの電話に対応しました。6月27日時点、床上浸水4件、床下浸水2件であり、罹災証明書は延長して受け付けを行いました（6月30日まで）。

今後、自主防災会と連携し、以下の豪雨対策を周知していくとのことです。

●排水溝の掃除

●土のうの交換

●トイレは水泡などで逆流を防ぐ

*新曾第一土地区画整理地域に完成した3号調整池は可動していますが、連続雨量の多さから容量を超えました。同地域に残り4カ所の調整池建設を予定。

*北大通りの冠水対策として、現在「雨水貯留管建設工事」が2025年3月31日完成予定で進められています（全長920m、容量26,000m³）。